

令和4年度第3回岐阜県地方独立行政法人評価委員会（県立病院関係）

－ 議 事 要 旨 －

1 日 時 令和4年8月24日（月） 14：20 ～ 15：20

2 場 所 Web会議（Zoom）

3 出席者

[委 員] 中島委員長、地守委員、松波委員、渡部委員

[専門委員] 伊在井専門委員、田中専門委員

[法 人]（地方独立行政法人岐阜県総合医療センター） 桑原理事長兼院長、
水野副理事長兼副院長兼事務局長
（地方独立行政法人岐阜県立多治見病院） 近藤理事長兼院長、
後藤副理事長兼副院長兼事務局長
（地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院） 大平理事長兼院長
長屋理事兼事務局長

[設立団体]（岐阜県） 森島医療整備課長、篠田医療対策監、山内課長補佐兼医療企画係長

4 議事等

[議題1] 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター・岐阜県立多治見病院・岐阜県立下呂温泉病院の令和3年度財務諸表について

[議題2] 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター・岐阜県立多治見病院・岐阜県立下呂温泉病院の令和3年度業務実績に関する評価について

5 配布資料 次第、名簿、資料①-1～①-3、参考、資料②-1～②-3

6 議事要旨

議事概要 県立病院関係

[審議事項：議題1]

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター・岐阜県立多治見病院・岐阜県立下呂温泉病院の令和3年度財務諸表について

※資料①-1を評価委員会事務局から、資料①-2を各法人の事務局長から説明。
主な質疑は以下のとおり。

県総合医療センター

【渡部委員】

保険等査定減が毎年増加していき、令和3年度は1億円を超えている理由は。

【水野副理事長兼副院長兼事務局長】

保険等査定減は収益の増加に伴うものである。

保険請求額に係る査定額（減額）の率を注視している。令和3年度の査定率は若干上昇している。

そこで、外部委託をしている入院関係の保険料請求業務を令和3年度秋ごろから内製化した。その結果、令和4年度現在は令和3年度と比べ査定率が半減しているため、継続していきたい。

【渡部委員】

資産見返補助金等戻入の科目が1期前から使用されているが、それ以前は他の科目だったのか。

【水野副理事長兼副院長兼事務局長】

新型コロナウイルス感染症関係補助金により整備した固定資産は、国や県からの要請より整備したもので更新を想定していないものであり、コロナ終息後に廃棄することを原則としていることから、財政的基礎を形成していないので、一昨年度から経常費助成として会計処理している。

したがって、新型コロナウイルス感染症関係補助金により整備した固定資産の減価償却費分を資産見返補助金等戻入に計上している。

【渡部委員】

その他営業収益の主な内容は何か。

【水野副理事長兼副院長兼事務局長】

他の医療機関への医師等派遣に係る人件費の負担金収益や職員の間人ドックに係る助成金の収益が主なものである。

【渡部委員】

受取利息はないのか。

【水野副理事長兼副院長兼事務局長】

当院には定期預金はなく、口座も決済用普通預金であるため利息が発生しない。

【渡部委員】

本館設備償却終了による減価償却費 5.4 億円減少とあるが、設備入替等の予定等はあるのか。

【水野副理事長兼副院長兼事務局長】

令和 3 年度までに中期的な計画を策定しており、計画に則り数年間かけて設備の入替えを行う予定である。

【渡部委員】

重症心身障がい児施設費用における研究研修費が直近 2 年間で特に少ない理由は何か。

【水野副理事長兼副院長兼事務局長】

当施設では、重症心身障がい児を扱う病棟であることから、新型コロナウイルス感染症の院内感染を厳重に警戒しており、外部の研修を自粛した結果、研究研修費が少なくなった。

【渡部委員】

一般管理費における経費がこの 5 年間で 1.6 倍に増加している主な要因は何か。

【水野副理事長兼副院長兼事務局長】

5 年前の経費と比較すると、他団体から出向で受け入れた職員の給与負担、銀行手数料、会計監査人の委託費用などの増加が主な要因である。

【渡部委員】

損害賠償金が多い理由は、発生件数が多いからか。

【水野副理事長兼副院長兼事務局長】

金額が大きいが 1 案件に関するものである。

【渡部委員】

資産除去債務の増加理由は何か。

【水野副理事長兼副院長兼事務局長】

医師住宅のアスベスト除去費用を令和 2 年度に計上したが、令和 4 年度に医師住宅を解体する方針とし、改めて費用の見積もりを行い増額となったことから、追加計上したためである。

【渡部委員】

医業費用における経費の内の委託料が昨年よりも約 1 億 7 千万円増加した理由は何か。

【水野副理事長兼副院長兼事務局長】

新型コロナウイルス感染症に関係する検査、清掃及び廃棄物処理の委託費用が増加したためである。

また、医事業務の委託費用の増加やエレベーターの改修を行ったことが主な要因である。

県立多治見病院

【渡部委員】

営業収益におけるその他営業収益の主な内容は何か。

【後藤副理事長兼副院長兼事務局長】

寄付金収益や院内保育所の保育料が主なものである。

【渡部委員】

営業外収益における雑益の主な内容は何か。

【後藤副理事長兼副院長兼事務局長】

立体駐車場の駐車場収入や職員への新型コロナウイルス感染症ワクチン接種を行ったことによる収入が主なものである。

【渡部委員】

期末時点の残高ベースで、現金及び預金が令和2年度より約9億円増加しているが、受取利息は令和2年度より減少している理由は何か。

【後藤副理事長兼副院長兼事務局長】

定期預金の金額は令和2年度と変わらない。

令和2年度は、各金融機関の金利を比較し、利率の高い特定の金融機関に定期預金が集中した。

このことに対して監事から、リスク回避のために預金を分散させる必要があるという指摘を受け、定期預金を分散させたことにより、受取利息が減少した。

【渡部委員】

医業費用における研究研修費が直近2期で特に少ないのは新型コロナウイルス感染症の影響か。

【後藤副理事長兼副院長兼事務局長】

指摘のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響により、医師の学会出張などが激減したため、研究研修費が減少した。

【渡部委員】

一般管理費における経費が増加傾向である理由は何か。

【後藤副理事長兼副院長兼事務局長】

委託料が増加したためである。令和2年度は立体駐車場が1箇所であったが、令和3年度から第一立体駐車場が完成しことにより、駐車場の管理費用が増額した。

また、燃料費の高騰により光熱水費が増加したためである。

【渡部委員】

医業費用における光熱水費が前年度対比約4千5百万円(約124%)増加した要因はなにか。(一般管理費の光熱水費も約2百万円の増加)

【後藤副理事長兼副院長兼事務局長】

電気料金やガス料金が令和3年度から高騰しているためである。

【渡部委員】

医業費用における委託料が前年度対比約9千2百万円増加したが、内容どのようなものによるか。(一般管理費の委託費も約3千1万円の増加)

【後藤副理事長兼副院長兼事務局長】

新型コロナウイルス感染症の検体検査委託費用の増加によるものである。令和3年度は感染疑い事例の増加や、手術前に全ての執刀医等が検査を実施したため、外部にかなりの数の検査を委託した。

また、立体駐車場建設区域において、ヒ素が確認されるため、行政からの指示受け、土壤汚染対策法に基づく調査の実施したことにより、調査委託費用が増加した。

【渡部委員】

長期貸付金に対する貸倒引当金を令和3年度より計上しているが、長期貸付金期末残高122,240,000円に対して12,340,200円計上ということは、期末残高に約10%を引当てたということか。

基本的には貸付金も準備金も返還免除を前提とした制度と思われるが、当該引当率とした根拠は何か。

過去の貸倒れ実績率はいかがか。

令和3年度より引当て計上とした理由は何か。

【後藤副理事長兼副院長兼事務局長】

令和3年度より引当て計上とした理由は、県の監査において、看護職員修学資金貸付金等について、返還免除に備えるために引当てを検討してはどうかと意見があったことを受け、監事の意見を聞きながら、他県での先行事例を参考とし、過去3年間の返還免除の実績率の平均で計上し、貸倒引当金より引き当てた。

なお、返還免除の際には科目が長期貸付金から短期貸付金に振り替える。

実績率については、短期貸付金の免除された金額を計算したところ、過去3年間の平均で31.4%

となり、この率に短期貸付金の残高を掛けて引当金を計上した。

【渡部委員】

貸付金は返還免除を前提とした制度と思われる。

貸倒れは、通常回収するはずが支払われなかったものという意味であると思われる。

引当て計上は問題ないと思うが、他病院でも貸倒れという処理をしているものなのか。

【後藤副理事長兼副院長兼事務局長】

他県でも同様の処理をしているものがあったのでそれを参考とした。

県立下呂温泉病院

【渡部委員】

設備投資（有形固定資産）における器械備品約2億6千7百万円のうち、主なものは何か。

【長屋理事兼事務局長】

主なもの（5百万円以上の器械備品）は以下のとおり。

- ・ 電子カルテ等の医療情報総合システム用ハードウェア 1億6千万円
- ・ 血管撮影装置 6千万円
- ・ 回診用X線撮影装置 1千4百万円
- ・ 多人数用透析液供給装置 6百30万円
- ・ 細菌同定感受性システム 5百30万円

【渡部委員】

設備投資（無形固定資産）におけるソフトウェア約2億7千万円のうち、主なものは何か。

【長屋理事兼事務局長】

医療情報総合システム用ソフトウェアである。

【渡部委員】

長期前払費用（投資その他の資産の増加額分）約5千5百万円の内容は何か。

【長屋理事兼事務局長】

令和3年度に更新した医療情報総合システムや取得した器械の消費税相当分を計上したもの。

【渡部委員】

過年度損益修正益約1千4百万円の内容は何か。

【長屋理事兼事務局長】

令和2年度に更新した人事給与システム導入に係る作業経費を、固定資産に計上しなければならないところを、委託料として会計処理し、過大に費用計上したものを修正するもの。

【渡部委員】

過年度損益修正損約3千3百万円の内容は何か。注記への記載の必要性はないのか。

【長屋理事兼事務局長】

令和2年度の6月賞与支給分について、前年度の12月～3月分は賞与引当金から取り崩し、残額を令和2年度の賞与で会計処理をしなければならないところ、賞与引当金の取崩しを過大にしてしまったため、過小に費用計上したものを修正するもの。

注記については、地方独立行政法人会計基準において、注記すべきものとしての例示がないため、記載をしていない。

【中島委員長】

資料①-3（意見書（案））のとおり知事に提出することとしてよろしいか。

（各委員賛同）

【中島委員長】

異議なしということで、原案のとおり知事に提出することに決定した。

[審議事項：議題2]

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター・岐阜県立多治見病院・岐阜県立下呂温泉病院の令和3年度業務実績に関する評価について

※資料②-1、②-2について評価委員会事務局から説明。

【中島委員長】

県総合医療センターの論点整理について、御意見・御質問はあるか。

（発言なし）

【中島委員長】

県総合医療センターから、御意見等はあるか。

【県総合医療センター 桑原理事長兼院長】

特になし。

【中島委員長】

県立多治見病院の論点整理について、御意見・御質問はあるか。

(発言なし)

【中島委員長】

県立多治見病院から、御意見等はあるか。

【県立多治見病院 近藤理事長兼院長】

特になし。

【中島委員長】

県立下呂温泉病院の論点整理について、御意見・御質問はあるか。

(発言なし)

【中島委員長】

県立下呂温泉病院から、御意見等はあるか。

【県立下呂温泉病院 大平理事長兼院長】

特になし。

【中島委員長】

資料②-2 (3法人の評価案) のとおり、決定することとしてよろしいか。

(各委員賛同)

【中島委員長】

異議なしということで、原案のとおり決定した。

<業務実績の全体評価について>

※資料②-3について評価委員会事務局から説明。

【中島委員長】

県総合医療センターの評価(意見)について、御意見・御質問はあるか。

(発言なし)

【中島委員長】

県総合医療センターから、御意見等はあるか。

【県総合医療センター 桑原理事長兼院長】

特になし。

【中島委員長】

県総合医療センターの評価（意見）について、異議なしということで、原案のとおり知事に提出することに決定した。

【中島委員長】

県立多治見病院の評価（意見）について、御意見・御質問はあるか。

（発言なし）

【中島委員長】

県立多治見病院から、御意見等はあるか。

【県立多治見病院 近藤理事長兼院長】

特になし。

【中島委員長】

県立多治見病院の評価（意見）について、異議なしということで、原案のとおり知事に提出することに決定した。

【中島委員長】

県立下呂温泉病院の評価（意見）について、御意見・御質問はあるか。

（発言なし）

【中島委員長】

県立下呂温泉病院から、御意見等はあるか。

【県立下呂温泉病院 大平理事長兼院長】

特になし。

【中島委員長】

県立下呂温泉病院の評価（意見）について、異議なしということで、原案のとおり知事に提出することに決定した。

[総括]

【中島委員長】

最後に、会議の全体を通して、何か御意見・御質問はあるか。

【松波委員】

3法人において、評価項目が似通っているものが多数見受けられる。

病院によって立地条件や人口密度が異なるため、それぞれの病院の実情に応じた内容で評価することが望ましいため、次期での評価項目の見直しを検討されたい。

【中島委員長】

今回は、それぞれの法人における中期目標及び中期計画の進捗状況を評価するものである。

現在は中期目標期間の途中であるため、県及び各法人は松波委員の意見を踏まえ、次期中期目標及び中期計画の策定時には、病院ごとにきちんと差別化を図るよう対応されたい。

以 上（終了時刻 15：20）